

# 森のおくりもの 3月



オオミドリシジミの卵（シジミチョウ科）



自然観察の森に着任して早いもので2年が経とうとしていますが、私にはこの森で見たいもの、見つけてみたいものが沢山あります。その願いは少しずつ叶ってきていますが、一番見つけてみたいものによやく出合うことが出来ました。それが今月の表紙の「オオミドリシジミ」の卵です。写真ではそのスケール感は伝わらないと思いますが、大きさはおよそ0.5mm。コナラの小枝に産んでいたものを見つけました。卵は命のカプセル。こんな小さなものに命が宿っていることに驚かされますが、さらによく見ると、横に小さな穴が空いており、何かが寄生している形跡が見て取れます。あらためて自然の厳しさ、生き物たちのしたたかさに驚きを感じるとともに、このような営みが自然界には当たり前のようにあるのだと思い知らされました。

この森での私の願いはまだ数多くありますが、そのたびに新たな感動や驚きが待っていると思うと楽しみでなりません。 【写真・文 近藤晋也】

# 森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

## 『年輪を刻む』

春が近づくと気持ちがウキウキしてくる反面、どんよりした気持ちになる方も少なくないのでは？春は多くの方が悩まされている花粉症の原因のひとつ、スギ花粉の飛散時期です。私もその一人ですが、目も鼻もかゆくて辛くなります。スギは本州から屋久島まで自生している日本固有種で、元々自生していなかった北海道や沖縄の一部にも植林されているようなので、ほぼ日本のどこにでもある樹木です。花粉症の方はどこにも逃げられないということですね。

屋久島といえば縄文杉などの屋久杉が有名ですが、屋久杉の年輪は本州のものとは違い、幅が非常に詰まっています。屋久杉は樹木が成長するには極めて厳しい環境なので、成長が著しく遅いため木目が密になった年輪になり固く丈夫で、樹脂分が凝縮されているので腐りにくいということです。

年輪は、樹木が気候の変化により春から夏にかけて活発に成長し冬に休止するという、成長速度の差と季節で材質が異なることにより輪状の模様になります。年間を通して気候の変化がない熱帯雨林の国の樹木では、一年中成長を続けるので年輪はできません。年輪は、厳しい時期を乗り越えた証に思いました。

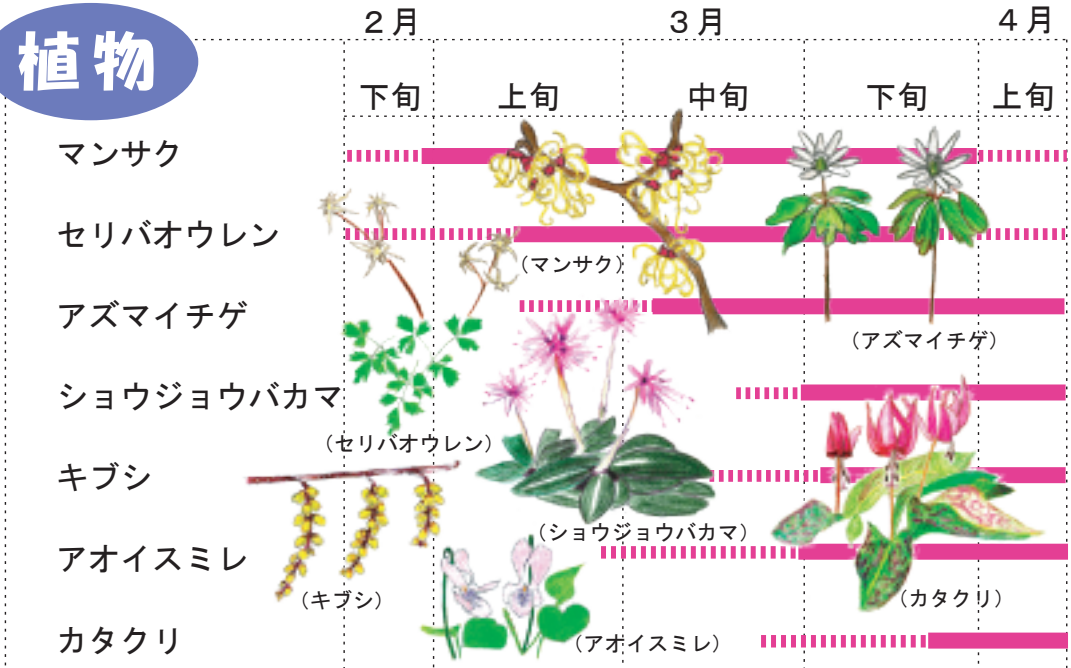
年輪で樹齢がわかりますが、伐らなければ見えないものです。間伐や危険になったために伐採された樹木の幹や切り株の年輪を見ると、「ここまで頑張ってきたんだ」という声が聞こえてくるように感じます。「年輪を刻む」という言葉があります。幾重にも刻まれた木の年輪から人の経験や成長を比喻し、「長年に渡り積み重ねられた経験、年齢とともに深まる経験」をいいます。

私たちは、生きていく上で様々な経験をしています。経験を積むことで、大きなことに活かしていけます。うまくいってもいなくても、進歩しても立ち止まっても、楽しいことでも辛く苦しいことでも、全てが経験です。コロナ禍で大変な日々ですが、私たちにはあの震災から10年の経験があります。この難局も乗り越え、年輪に刻んでいきましょう。【レンジャー：新田隆一】



# 3月の生物ごよみ

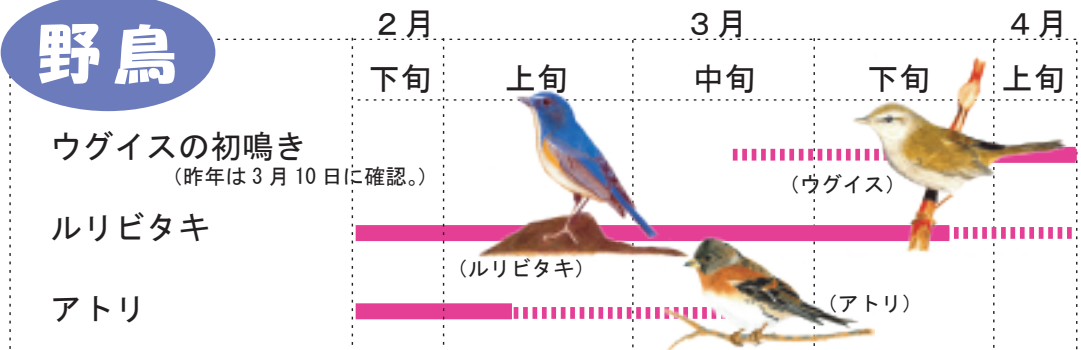
## 植物



早春の樹木の一番手『マンサク』は昨年より3日ほど遅く、2月11日に開花が確認されました。今年は何の木にもたくさんの花芽をつけていて、花いっぱいマンサクがみられることでしょう。花は3月後半まで楽しめます。草本の一番手『セリバオウレン』は2月13日に開花が確認されました。こちらもいたるところで見ることが出来ますが、『であいの道』と『太白の道』が交わるあたりが花畑になっていて、たくさん花を見ることができます。3月半ば頃が見頃になります。

野鳥情報では、昨シーズンはほとんど見ることが出来なかったアトリですが、今シーズンはたくさん森にやってきました。毎年3月後半には移動するのでそれまでが見頃になります。

## 野鳥



【レンジャー：齋 正宏】

# 森の「おとしもの」



「冬なのに、冬だから」



上の写真の「いきもの」って、いったい何者でしょう？

2月7日午後、センター前の大きなケヤキの表面で見つけました。左の写真は大きさの目安に人差し指を一緒に写したもので、体長は5ミリ程度でした。右はマクロで撮影したものです。足が6本ありますね。昆虫ってわかりますがその先は…？

正体は「ガ」。よく夜に飛んできてハネをパタパタするあれです。“ハネがないじゃん”“ガに見えないよ”と言われそうですが、「フユシャク」という冬に成虫が出現するシャクガの仲間のメスでハネは全く無いが、あっても小さく退化して飛べません。オスが飛んできて交尾し命をつなぎます。でも、なぜ一年で最も寒い冬に現れるのでしょうか？

天敵（クモやカマキリ、カメムシ、カエルなど）が少ないことが有利だからと考えられます。メスにハネが無いのも体の表面積を小さくし寒さに対応できるように、また栄養を少しでもタマゴにまわすため、とも考えられます。水分をとると体内で凍ってしまうため餌をとらないので口もありません。そういえば見つけたメスは体がふさふさで暖かそうな恰好をしていました。冬だからこそ有利にはたらく体のしくみになっているのですね。オスも探しましたがこの一頭だけで、翌日にはいなくなっていました。また来年逢えますように。

【レンジャー：木田秀幸】

# 森は糸



# 森は布

森は様々な生き物が互いにつながって  
森として生きているんですね (\*\_\*)

シジミチョウの仲間では、大きさが最大級のウラギンシジミは、宮城県あたりが北限なのだそうです。観察の森では、6月から10月にかけて2回発生し、水分等を補給する姿がよく見られました。秋に発生した成虫は、成虫のまま越冬します。もともと温暖な地方のチョウのようで関東以北では無事に春を迎えることができる固体は少ないといわれています。昨年(2018年)の12月にキヅタの葉裏で冬越しするウラギンシジミを二頭見つけました。年が明けても同じ場所で動かずにいたのですが、1月13日に2頭とも姿が消えていました！ (>\_<)



12月5日

1月5日

1月9日

1月11日

羽の破れは厳しい世界を生き抜いた証です。

ウラギンシジミは年に2回現れます。これは9月に撮影した夏型のウラギンシジミ、羽の先端に注目！



夏型



秋型

11月下旬に撮影した秋型のウラギンシジミ。常緑の葉の裏にがっちりつかまり冬越しの準備です。夏型に比べて羽の先端がとがることが多いといわれています。

ウラギンシジミのオスです。羽の表側がオレンジの模様できれいですね。



ウラギンシジミのメスです。羽の表側に銀色の模様があります。



観察の森の過去5年間のデータを調べると、12月以降、冬越しが観察されたのは4年連続で、一番遅い月に確認できたのは2018年の2月です。夏型の発生は5年間連続で確認でき、最も早かったのは6月の中旬で、後は7月でした。冬越しの確認ができなかった年にも夏型の発生は確認されていますので、今も必ずどこかで寒さを耐えているはず。幼虫の主な食草は、夏型はフジ、秋型はクズの葉なので、越冬した固体は、4月から5月ごろおそらくフジに産卵するものと思われます。冬越しの写真を見て分かるように、越冬中の移動はほとんどありません。3月春の日差しの中を舞う姿に期待しながら、冬越しの姿を探したいと思います。・・・(^\_^)

【レンジャー：菅原幸彦】

# 3月

## のイベント&お知らせ



### ◆おはよう野鳥かんさつ 講師の解説と一緒に野鳥の声と姿を探します。

【日 時】3月13日(土) 午前6時半～8時 【定 員】15名

【持ち物】あたたかく歩きやすい服装と靴、観察用具(双眼鏡貸出あり)

【申込み】3月6日(土)9時より電話受付



### ◆親子で春の森体験 親子でいきもの観察や自然遊びをおこないます。

【日 時】3月20日(土) 午前10時～11時半

【持ち物】歩きやすい服装と靴 【定 員】小学生以下の子供とその保護者10名

【申込み】3月7日(日)9時より電話受付



### ◆早春の植物かんさつ会 春の草花を講師と共に観察、解説してもらいます。

【日 時】3月27日(土) 午前10時～11時半

【持ち物】歩きやすい服装と靴 【定 員】15名

【申込み】3月9日(火)9時より電話受付



### ◆「野鳥のレストラン」もうすぐ閉店!

えさ台の野鳥たちをあたたかい部屋の中から観察しませんか? 3月31日まで。

◆新型コロナウイルスや天候の急変等によりイベント中止の場合があります。

毎週  
日曜は

### 『ガイドウォーク』の日!

開催日: 7日, 14日, 21日, 28日

開催時間: 10:00～11:30

今月のテーマは「**早春の森の楽しみ**」

◆4月より午前と午後の2回となります。

### 3月の休館日

1日(月)、8日(月)、  
15日(月)、22日(月)、  
29日(月)

※月曜日が祝祭日の場合は  
火曜日が休館です。



#### 宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅
  - ② 長町駅東口
  - ③ 八木山動物公園駅
- 乗車時間 約40分  
乗車時間 約30分  
乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車  
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘経由山田自由ヶ丘ニュータウン行」)  
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分



#### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

#### ♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、  
「森のおくりもの」バックナンバーは  
Webで!

2021年3月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「社のひろば」URL:<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>